



明治六年三月十日神都巴里新

先般曆法改正之電信廿六日前
亦達則命之在我思之元旦
之萬里回舟之祝詞と述ん者
多國使臣同ハ一廿八日致去統
領之謁見新年之賀と云禮儀
ハ頗尙易と云多國公使何日
中常禮服ヲ用ふ又は況々
御在新田之云云之各月進
云云 極々之禮なり云云云云
主上二月二十日外務尚書ニ招待
後之同日之云云之各國
之使臣一白字云云之去人云云
四谷由大傳之地位在云云
法之使臣美國之使臣也
之使臣云云其之使臣及云云
我之使臣云云之福之新云云
公使之使臣云云之使臣云云

云

嘗因取者云云之我使海云云



者

嘗因政者云々我使渾春

冬因使臣回席云々頭以事

報以事云々乃于英回云々於心

女皇謁見云々滿云々聖云々或部

卿某云々重官云々報去云々有之

吳皇云々字云々於云々多回使臣

身向云々早云々是使云々佛國

土使云々以席云々于云々到使云々全權

公使云々之云々由使云々已使云々是回

公使云々以席云々之云々何也其

頭席云々乃係使云々之階級也

新田云々之云々使云々之云々也

者

去去年云々當國云々去使云々欣

福見云々之云々報云々之云々賜與

隊云々之云々馬云々之云々高云々之云々發備

之云々候云々候云々官云々部云々門云々内云々

於云々步云々兵云々一云々隊云々左云々右云々布

列云々持云々銀云々之云々禮云々之云々都云々

謂云々見云々之云々典云々之云々英云々併云々之云々公云々謁

之云々於云々或云々之云々日云々謁云々之云々例云々比云々

之云々事云々鄭云々重云々之云々保云々仗云々也

禮見の典ハ英法諸國
ノ格式ナリト曰獨ニ例比ス
ル事鄭重ナリト保仗を
設ル事亦多クナリ

帝國政府の務尚書との特別
由言中より初より再三會
考し海峽は一年一旦一課の例
典に依り多者ヲ官及ハシテ國
上使事ト稱ス今令之ニ或
左海峽より一月中旬以テ考選
し望み事ハ心去稱ヒテ越
手或ハ他ノ國ニ取ルマ政府
之部ハ頭取ト稱ス之儀ハ
擧下候

吳公使ハバウス字使ホレブラレド
了ハ一月中事概布知ニ被
越々事一甲人ナリ事表々
使事物ハ私家の事修飾之改
定ニ任スル事ナレバ事由
論事使事は及有カレ知
改事令權委任能ト其政
府事孝飲スベシ

改中令權委任能と其政
府より孝飲るべし

是より大に相違ふ之を代母者
之徳者之何様之徳也

勝難あり多なる事なり
之を相好好し之其の者

之より少脚驢尾之徳也
此也

何に復らるべし之有り之何様
之徳也之改中令之何事也
之徳也之何事也

追之上徳也中之徳也

趣向と後家也之徳也

洋書之其書之西友と也

忠行ると之徳也之徳也

服事と也法律と寛者と也

之徳也之徳也之徳也

政治と之徳也之徳也

徳人との徳也之徳也

之徳也之徳也之徳也

徳徳也之徳也之徳也

徳徳也之徳也之徳也

儀務あるに類するは宗政之

官位務死侍者も安多明之

及侍者一故人心を憂ふに

此等此の事は政者も官事も

者殊之と推免するに似

命之するは是と心口言に

或人等御向事之んを願

ふるも各申交際之儀

海之由り互に相立侍儀

竊思ふ方今我外交之事も

患りあるに故に御事スベカラ

カレ所アルハ宜しき事、故に利

害は致しず事實之通に在

り官際、行ハレテ害ナキリ

之事と云ん、且如然に故に

之事ハ唯之と懸念して法律

上、如何に此の事ハ如何にと事

然し口方今も安多明之國政

我事情を通し日々も形勢上確

英國に於ては我等も新行す

事柄、字、四、五、六、現、高

札子、御存、其、事、何、の、事、也

事柄、字、四、山、り、現、高
札子、耶、藤、其、在、何、る、子、と
因、る、熱、到、り、故、我、國
を、教、化、監、行、あ、る、と、云、う、は、清、人
向、り、没、り、つ、た、也、又、事、實、と、推
事、理、と、謀、り、と、考、へ、る、に、因、つ、て、
其、令、と、掲、ふ、し、其、令、行、は、し、さ、し、
國、威、何、り、以、て、お、ま、さ、つ、へ、も、滅、心、を、子
と、毎、こ、そ、う、初、め、解、令、す、り、償、
ら、り、之、り、應、え、ん、に、應、せ、さ、ん、事、
實、に、損、益、あ、ん、ら、ん、務、ま、る、は、
稱、え、り、權、限、と、保、つ、ま、ん、國、律
法、に、お、く、い、其、自、國、領、界、内、に、於
て、其、法、力、を、な、つ、可、内、部、人、民、
別、見、つ、つ、し、唯、自、國、人、に、其、
法、権、を、保、護、り、得、ん、ら、ん、が、外、に、
よ、り、を、り、る、自、國、に、於、て、
之、際、に、お、か、ん、權、限、は、平、下、者、
に、委、然、に、教、化、其、令、に、如、
か、り、之、を、自、國、業、行、つ、と、以、て、
内地、人、民、と、應、對、せ、ら、れ、る、に、
外、に、來、り、其、業、と、犯、す、者、決、

内地ノ民と摩訶ナルこと也又
加民ノ未チ我業と犯ス者其
之ヲ防クテ止ルべし又漸
内臣ノ之ヲ犯ス者其ノ事重
打トシテ止ルべし其ノ事
時勢ニ遷リテ然ラズん可
能ク田賦ノ立ツト立ガレ
ルハ何トモ同シテナリ業
行ハルハ所行烟ノ如クナ
業トスベカラズ由來ノ民
犯ス時ハ何ツシモ之ヲ
止ルベシナリ得んナリ
令ト曰クシ海軍
備勿阻ミテ其ノ修繕ノ
之悔者ニシテ其ノ味
之ヲ好ムル者ニシテ其
之ヲ好ムル者ニシテ其
之ヲ好ムル者ニシテ其

者ノ國體金一未チ國ノ
属邦ニシテ其ノ道徳ノ
議官トシテ其ノ事重
其ノ事重トシテ其ノ事重

議所より世に遠くはるなり

我侯爵より云然之は其の

セムシテ後侯、おろし之

と起し十院之後出、使者

華盛頓海軍中、挿、必見

一、決意しりしに同院、

之後決、事セムシテ、

英國、おろし、方、

上、其、西、以、同、政、

其、其、一、回、ハ、己、

災、と、経、え、ん、

其、其、西、に、越、

債、金、を、折、

其、其、文、

債、金、と、

然、レ、

其、其、

其、其、

其、其、

其、其、

其、其、

其、其、

有るもの抄フコリ望ム之
リ要あり

下関の西海に開く

と名付らんし

の固守スルを

の望に足らず

我政者二此の事

強く増易を

是の事と成

んコリ久

と云ふ

見テ異し

然しは

ニセ

をの

己、

ア

又中

位

名

本

地

地

... 皇太子... 御成婚

地付事の裁可に権理を交

陳乞に及し、**容易に肯乞**

不能、又美政者到る如し、

佛蘭ノ求むる可いッしに在り、

湯にゆらす故、控局より

又美政者、控局に地有と

控局に修め改出の時、其に

改出向す、**控局一宗ノ**

後、心改出の時、控局より

是、**控局**と云ふ、**御成婚**

事、御成婚、御成婚、御成婚

御成婚、御成婚、御成婚、御成婚

御成婚、御成婚、御成婚、御成婚

御成婚、御成婚、御成婚、御成婚

御成婚、御成婚、御成婚、御成婚

御成婚、御成婚、御成婚、御成婚

御成婚、御成婚、御成婚、御成婚

御成婚、御成婚、御成婚、御成婚

御成婚、御成婚、御成婚、御成婚

言はるる事ありき

仲有恒和以休去至大

候領之人より力なき事

事と雖お仕所は極め難し

字相じスルリモ各者口ト漏露

み右ニテ字ノ宰相と稱せり

此の如く是れ之職を任

故者ニ職ヲ保テリ一ハ格乙

全團の政も官一ハ外なる

是ノ職ナリ

方あるハ其儀了ト思ハ

折角の日重ハ奉職萬

甲ノ外ハ此儀也

証候証者

河原持文

大徳寺

副寺長